聖徳大学・聖徳大学短期大学部　ビジネス・フィールド・リンケージ®
第5号（2026年3月21日発行）

「聖徳BFL副専攻プログラム」の魅力を伝える

BFLゼミ通信

「聖徳ビジネス・フィールド・リンケージ(BFL)副専攻プログラム」は、聖徳大学・短期大学の学生が学科での学びを通して得られる専門知識やスキルをビジネスフィールド（実社会）で効果的に活用・実践できるよう組み立てられた科目群です。ビジネス社会の各領域で実績のあるスペシャリストが具体的な事例を示しながら分かりやすくていねいに指導します。

今回は、松戸市主催のビジネスプランコンテストにBFL近未来創造ゼミから出場した「Mnetチーム」と「みなみなみチーム」の活躍、2026年度春学期のBFL科目、BFLオープンセミナーの開催予定などを紹介します。

01 Mnetチームがファイナリスト賞を受賞！

ビジネスプランコンテストにゼミから2チームが参加



文学部2年の中山由姫乃です。

2月28日、松戸市主催の「第5回やさシティ、まつど。ビジネスプランコンテスト ファイナル審査会」が開催され、BFL近未来創造ゼミから「Mnetチーム」が出場しました。

本コンテストは、地域課題の解決を目指す起業家を支援する取組みで、今回U-25部門が新設されました。

MnetチームはU-25部門で二次審査を通過し、ファイナリストとして最終審査会に臨みました。会場には市民審査員や出場者の関係者が多数訪れていました。



※写真（上）：ファイナリストとなったMnetチーム、（下左）発表中の様子
（下右）Mnetチームの提案プレゼンの表紙

来場者の方々は発表を真摯に聞き、地域全体で起業を応援しているような一体感が印象的でした。

Mnetチームは、「Campas Meal」という、食のサブスクリプションサービスを提案。大学生の不規則になりがちな食生活という身近な課題に着目し、松戸市の生産物を活用することで地域経済の循環を目指すビジネスプランです。人間栄養学と文学部の知見を合わせ、食事に物語性を加えるという点に大学での学びの専門性が表れていました。

BFLゼミ通信



プレゼンの直前は、メンバーたちに緊張した様子が見られましたが、先生方の励ましやアイコンタクトを取ることで心を落ち着かせ、発表に臨んでいました。本番では、笑顔を絶やさずに身振り手振りを加えて会場を楽しませており、緊張を感じさせない堂々とした発表でした。

ビジネスアイデア賞は惜しくも受賞できませんでしたが、大勢の前で自分たちの考えを発表したことは、今後の挑戦につながる貴重な経験になったと思います。

「BFL近未来創造ゼミ」では、来年度もビジネスプランコンテストへの参加を予定しています。

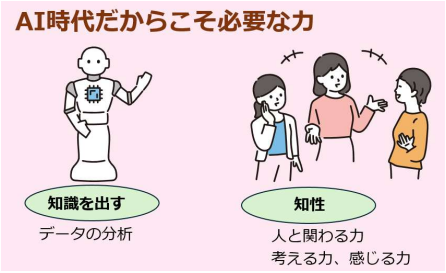
みなみなみチームには幼児教育サービス企業からコラボの話が！

今回残念ながらファイナル進出を逃したもう一つのチーム「みなみなみチーム」ですが、最終選考の後に開かれた交流会で審査員の方々から聞いた話では、提案した「リアルで体験！聖徳生と知性を育む わくワークショップ（右図）」も、ファイナリストとなった各チームに決して引けを取っていなかったそうです。

その言葉を裏付けるかのような嬉しい提案が審査会終了後にもたらされました。当日は、みなみなみチームのメンバーも応援に来ていたのですが、審査会終了後の交流会で、「みなみなみチームの二次審査会でのプレゼンを観た」という幼児教育サービスを提供している会社の代表の方から、「提案内容がとても斬新なので、何らかの形でコラボしたい」との提案をいただきました。

今後ゼミとして連携を図っていく予定です。





※写真：みなみなみチームの提案プレゼン（一部）

2026年度BFLオープンセミナー予定

04/25(土)「洗練されたスライドで差をつけよう！プロが教えるPowerPointスライド術」
川口泰司 先生：Webテクノロジーのスペシャリスト、ネットラーニング系企業の経営陣、特命BFL教授

05/24(日)「ビジネスで使える実践AI講座～短時間で見栄えの良いパワポスライドをつくるワザ」
川口泰司 先生：DX推進＆AI活用の専門家、ネットラーニング系企業の経営陣、特命BFL教授

06/21(日)「親子で考えよう：近未来創造とキャリア形成について」
井上慶子 先生：大手就職支援会社にて支社長などを経て、新規事業創出を担当、特命BFL教授

07/11(土)「学生やフリーランスの税金の基礎知識と節税のポイントを知ろう」
原田聡 先生：日本最大手の会計事務所での勤務を経て税理士・公認会計士事務所を開設して独立

02 2026年度春学期BFL科目一覧

区分	授業科目	内容	担当	時間割
共通	ビジネス・フィールド・リンケージ原論	BFLのテーマである「新時代に求められる新しい価値創造」についてＢＦＬの学びを最大化できるプログラム	浅岡、石井	浅岡（金３）石井（土２）
	ビジネス・コミュニケーション・スキル	フリーアナウンサーから学ぶ「人間関係のプロになる方法」	河田	金４
	ビジネス・フィールド・リンケージ　近未来創造ゼミⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	BFLで学んだカを様々な形でアウトプットする活動を楽しみながら、自分がBFLで学んだ価値を認識し、成長実感を得られる活動型ゼミ	浅岡、石井、川口	土４
	ビジネス・フィールド・リンケージ　自由研究ゼミⅠ、Ⅱ、Ⅲ	「地域の街づくり・人づくり」をテーマに企業や地域と交流しながらアイデアを構築する	橋本	不定期
	アントレプレナーシップ（起業家精神）概論	BFLの学びの源となる「起業家精神」をアイデアの発想から実践的に学ぶ	川口	土３
	ビジネス文章力・情報収集/発信力の磨き方	コミュニケーション能力の要である文書（日頃のレポートやエントリーシート、ビジネス文書等）の作成スキルを学ぶ。また、有用な情報を信頼性の高いメディアから収集して活用する力も同時に学ぶ	中松	火５
価値増幅型マネジメント副専攻	現代社会におけるビジネスリテラシー	自分たちが生きているこのビジネス社会の様々な課題の本質や背景を探る	井上	土１
	就活にも役立つメディアリテラシー	信頼できる情報ソースから価値ある情報を獲得する方法や、SNSを危険を上手に避け、効果的に使いこなすために知っておくべきことなどを学ぶ	石井	土１
	戦略的ビジネスマネジメント	企業経営のノウハウを理解し、企業の近未来を展望する。働く現場で活用・応用可能な普遍性のある知識・スキルを身につける	浅岡	金４
	AI時代を生き抜くためのメディアリテラシー論	「メディアにいかに向き合うか」をメインテーマとして取り上げ、今企業が最も求めている社会人としての資質である「主体性」の習得する	森田	金５
グローバル人材育成副専攻	グローバルコミュニケーション	ボーダレスに通用する人間性やコミュニケーション能力を身につけ新しい価値を創造するプログラム	中里	火３
ビジネス再生・創生副専攻	戦略的ビジネスプランニング	顧客起点でのビジネスモデルを組み立て企画書と実行計画の作成方法を実践的に学ぶ	橋本、井上、荒木	土２
ビジネス・データサイエンス副専攻	文系人材のためのDX・AIリテラシー	各業界が推進するAIやDXに関する基本的なリテラシーを学び、就職活動や社会人の仕事を優位に進めることが出来る力を高める	石井	月５
	ビジネス・データサイエンスⅠ	現代社会におけるデータサイエンス・AIの利活用領域、技術、最新動向、留意事項についての知識を体系的に学ぶ	野口	水2
社会活性化・価値創造副専攻	行政の役割を体験するインターンシップ	行政のインターンシップ体験を通して公務員の仕事のやり甲斐や仕事内容について理解を深める	橋本	木２

新科目紹介「ビジネス文章力・情報収集/発信力の磨き方」（中松正樹先生、春・秋学期）

企業の採用活動で人事担当者が重視することの1つは「コミュニケーション能力」ですが、その具体的な内容は「聞く力」と「伝える力」です。この両方をしっかり身に付けておけば、就活を有利に進めることができるだけでなく、将来、ビジネスパーソンとしての優位性を保つことができます。

この授業では、コミュニケーション能力の要であるビジネス文書（日頃のレポートやリフレクションシート、メール、エントリーシートなど）の作成スキルを学びます。内容のある情報を発信するにはインプットが必要ですから「有用な情報を信頼性の高いメディアから収集して活用する力」（メディアリテラシー）も同時に学びます。

09/26(土)「生成AIを活用してExcelでのデータ・業務分析を効率化する方法を学ぼう」

熊谷基継 先生：プログラミング教育コンテンツ＆Webアプリ開発の専門家、特命BFL教授

10/17(土)「ポップカルチャーによる地域創生のマーケティング」

三浦俊彦 先生：中央大学商学部教授、マーケティング＆消費者行動関係の著書を多数執筆

11/14(土)「起業について学び、キャリア形成に繋げよう」

荒木真喜子 先生：企業経営者、中小企業診断士、松戸スタートアップオフィスのアドバイザー、特命BFL教授

12/05(土)「海外で働く・生活するために知っておくべきことは？」

佐々木亮太 & 宏美 先生：アミューズメント&スポーツの大手企業のヨーロッパ本部（英国）に6年間駐在

03 2025年度の「BFL近未来創造ゼミ」活動報告











※写真(上から):ゼミ室での活動の様子、BFLオープンセミナーの様子、オープンキャンパスでの活動の様子、ゼミ生が作成したチラシ

BFLプログラムの価値を学内外に様々な方法で伝えていく活動を通して、BFL各科目や専門科目での学びを深めるとともに、社会の諸課題を解決する能力を高めることなどを目的として行われる「活動型ゼミ」として、今年度にスタートした「BFL近未来創造ゼミ」の1年間を振り返ります。

春学期に14名・3チーム編成でスタートした本ゼミは、秋学期も、半数ほどのメンバーの入れ替わりはあったものの、同数の14名・3チーム編成で以下のような活動を行いました。

●BFLオープンセミナー運営

スタート当初は、以前から毎月1回のペースで開催している「BFLオープンセミナー」の運営業務を大きな柱と位置づけました。主な業務は、「チラシ作り」「当日のセミナー運営」「セミナーレポート記事作成」の3つ。この3業務を、3チーム持ち回りで担当し、全チームが3業務を1回は体験できるようにしました。

●オープンキャンパスでの広報活動

オープンキャンパス開催日に、来場した高校生やその保護者の方々に、BFLプログラムについて説明する活動も行いました。

●学外での広報活動

作成したBFLオープンセミナーのチラシを持って、松戸市役所や松戸商工会議所を訪問。セミナーの概要説明に加えて、BFLプログラムや本ゼミの内容なども訪問先の職員の方に説明しました。

●ゼミ通信の作成、発行

秋学期からは、毎月1回、ゼミ通信の制作・発行をスタート。ゼミ生による情報発信の機会を拡充しました。

これらの活動は、BFLプログラムについて広く知ってもらうという意義に加えて、BFLについてゼミ生自身がより深く理解し、自らの学びを振り返り価値づけする機会、学外の方とコミュニケートする機会など、ゼミ生の経験を通した学びの場としても意義深いものとなりました。

●松戸市のビジネスプランコンテストへの参加

急遽参加することにしたため、準備期間が短く、試験や海外研修などにも時間をとられ、日程面で大変な部分がありましたが、本紙1～2ページで報告の通り、応募した両チームが質の高いプランの提案を行いました。

今年度の様々な活動の成果をベースとして、来年度はさらに楽しく、かつ、充実した活動をしていきます。(報告:石井清人 教育学科教授、本ゼミ責任者)

「BFLゼミ通信」第5号
発行日:2026年3月21日
発行元:「BFL近未来創造ゼミ」
発行人:石井 清人
編集担当:「BFL近未来創造ゼミ」BFL通信制作チーム、石井清人、浅岡伴夫
原稿執筆・写真撮影:中山由紀乃、寺田ゆり、富田佳暖
デザイン・レイアウト:中山由紀乃、寺田ゆり、富田佳暖、川上心音